区分13	専門基礎分野 人体の構造と機能	授業科目名	解剖学	単位数	1単位 （30時間）
開講時期	1年　後期	担当教員	遠藤　大輔	担当教員の実務経験	有・(無)

◆実務経験の内容

◆授業の目的・目標

正常な人体の基本構造を理解することに主眼をおき授業を行う。人体構造の理解には多くの解剖学用語の理解も必要となるので、図を多用しながら分かりやすく解説していく。授業を通じて、各系統を構成する器官、構造物が説明できるようになることを目標とする。

◆授業の概要・授業方針

授業は教科書の内容及び授業中に配布される資料に沿って進行する。多くの解剖学用語を覚えなければならないため、授業の後に復習する必要がある。その確認のため小テストを行うこともある。

◆テキスト・参考資料等

医歯薬出版 『臨床検査学講座　解剖学』

◆成績評価の方法

定期試験および授業中に行う小テスト等により評価する。

授業計画		チェック欄
第1回	消化器系1（総論、口腔）	
第2回	消化器系2（咽頭、食道、胃、小腸）	
第3回	消化器系3（大腸、肝臓、胆嚢、膵臓）	
第4回	消化器系4（腹膜）、呼吸器系1（総論、鼻腔、喉頭）	
第5回	呼吸器系2（気管、気管支、肺、胸膜、縦隔）	
第6回	泌尿器系	
第7回	内分泌系	
第8回	生殖器系1（男性生殖器）	
第9回	生殖器系2（女性生殖器）	
第10回	神経系1（総論、、発生、髄膜、脳室）	
第11回	神経系2（中枢神経1—脊髄、脳幹、小脳、間脳）	
第12回	神経系3（中枢神経2—大脳、伝導路、末梢神経1—脳神経①）	
第13回	神経系4（末梢神経2—脳神経②、脊髄神経）	
第14回	神経系5（自律神経）、感覚器系1（視覚器、平衡聴覚器）	
第15回	感覚器系2（味覚器、聴覚器、皮膚）	